



## 業界団体加盟店舗の証「AOUステッカー」

新年あけましておめでとうございます。AOU 店舗活性推進委員会の畦田（うねた）です。

さて、2017年の年度末、不正改造をした機械を用い詐欺行為を働いた罪で、オペレーター（AOU 非加盟店）が初めて逮捕される事件が起こりました。マスコミで報道されたこともあり、弊社の出店する店舗にも商業施設の担当者から事件の概要、運営面での問題はないか等の問い合わせがありました。

健全営業を促進するAOU加盟店舗では「あのような営業は決してない」と強く言えることと思いますが、残念ながら一般の方から見ると、AOU加盟、非加盟の区別がつきにくいのが実際のところではないかと思えます。

現在、私たち AOU 加盟会員の店舗には 健全営業の証として「ゲーミー」をデザインしたステッカーが配布され店内に掲出されているかと思えます。

私たち AOU 加盟店の証は、このステッカーなのですが、サイズは直径せいぜい 20 センチ。ほとんどのお客様が気付くことがないのが実情です。

天下一音ゲ祭の楽曲配信効果もあり、AOU 加盟店であるかないかは、音ゲユーザーにはだいぶ意識されるようになったとは思えます。

しかし、それを調べる術が乏しく、現状では音ゲ祭の公式 HP が唯一の検索方法になります。マップ上で AR ゲームを楽しむ、このご時世。なんで、アーケードゲームの世界はネットリテラシーが低いのか！？と、さぞ若い世代は嘆いていることと思えます。

## AOU 加盟オペレーターを対象にしたシステム、稼働を始めます！

けれど、ご心配なさらず。

店舗活性推進委員会では遅まきながら 会員店舗の情報を管理するデータベース（以下 DB）を立上げます。

AOUとJAMMAが合併して4月に発足する「JAI A」は日本で唯一の公式なAM産業の団体であり、警察庁の公認を得る唯一の団体です。

一方で、今までAOUは各都道府県の団体の連合会という特性故に会員店舗の情報の把握を十分にしておらず、また断片的にある情報も統合管理した経緯がなかったのが実情です。

何事も事業を行う上では、現状を把握するのが最初に必要なこと。新団体として活動を行うにあたり全国のAOU加盟店舗を再度把握し、ユーザーの方々に周知することから始める。これがDB立ち上げの目的です。

そして、このシステムは、会員店舗のデータを登録していただくことで以下を可能にしたいと考えています。

### ①加盟店舗の所在地を表示できる

年末の事件もありましたが、業界団体に加盟せず遵法精神を持たないオペレーターも残念ながらいまいます。

今回のDBに登録がない非加盟店舗は、当然、この地図には掲載されません。我々オペレーターはもちろん、一般のお客様、関係省庁の方々にも町中に存在する店舗がAOU加盟であるか否かが明確に表示できるようになります。

情報が開示されることで、地域懇談会などでも AOU 加盟店か否かの説明もできるでしょうし、年末の事件のような店舗の摘発などにも寄与すると期待しております。

### ②音ゲ祭との連携などの告知促進

ユーザーの方は、目的のゲームで遊びたい時、メーカーのHPで機械の設置リストを見て店舗を探しているかと思えます。

目的の機械を探すだけなら、従来の仕組みで良いのですが、例えば『「ボルテ」と「グルコス」の先行配信されている店舗』など メーカーの垣根を越えた検索はなかなかできません。

機械の設置情報は、オペレーター各社もホームページで提供をしていると思えますが、先行配信のプレイできる店舗をユーザーがすぐに調べられるようにするなどの仕組みは、ユーザーの困り込みにも期待できます。

### ③各種申し込みなどのシステム化

現在、開催されている「天下一音ゲ祭 楽曲配信」などは本社経由でエクセルにて毎回申し込みをいただいております。都度×切に間に合わないなどのトラブルが発生しております。

今回のDBはメーカー各社様の情報との連携を目指しており、機械の設置情報などをメーカー各社さまと連携することで 楽曲配信の漏れがないようにするなどの事務手続きの簡略ができるようにしたいと考えています。

### ④会員店舗向けの情報の提供

今回、店舗情報を登録していただいた店舗には「ID」と「PASS」を発行します。

この「ID」と「PASS」を入力し、ログインしていただくことで各店舗の情報更新。

ユーザーに向けた情報の発信に活用していただいたり、相互に公開している近隣会員店舗の情報を閲覧したり、外国語POPなどの無償提供など会員店舗ならではの情報を得ることができるようになりたいと考えております。

## 2018年は業界変化の元年になるか？

以上、記載したことは 相互に公開できる情報を提供していただくことで考えられる仕組みです。情報は集まればより活用範囲も広がるのが期待できますので、数年かけて業界団体で唯一無二の情報システムに育てたいと考えております。

ホームページやDBの活用は当然とし、動画配信なども含めたオペレーターの運営スタイルの変化もこれから本格的になるでしょう。

アミューズメント向け POS システムや、電子マネーシステムによる IOT による進化は目覚ましく、まだ一部での活用ではありますが、システムによる決済方法の変化、集金スタイルの変化など、システム化と変革の波は 2018 年に間違いなく来ると思われます。

店舗活性推進委員会としても、会員各社様、賛助会員のみならずのご協力を得ながら、昨年好評であった「アミューズメント施設運営セミナー」でも取り上げていきたいと考えております。

今年度も、みなさまの店舗活性推進委員会へのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

